

県内総合



駅やビルが立ち並ぶ一角の公園で、市民が手入れしたバラ約100株が見頃を迎えている＝水戸市桜川

色とりどりバラ見頃

水戸の公園、市民手入れ

水戸市桜川の水戸駅南口から徒歩3分ほどの公園で、市民ボランティア「街を花に黄色とさまざまな色の」と緑でいっぱいにする会」

が6年半ほど前から手入れしている。駅やビルに囲まれた一角で、105種106株のバラが大輪の花を咲かせ、訪れた人を楽しませている。

同会は2018年、同市公園協会が管理する同公園の一角で、27本のバラを植え始めた。徐々に花壇を広げ、会員の有志が月2回、施肥や病虫害対策、剪定といった手入れを続けている。

公園に咲くバラは、「アンネの日記」で知られるアンネ・フランクゆかりの「アンネのバラ」をはじめ105種106株に及ぶ。今年は「最高の出来栄」（同会）で、見頃は6月初旬ごろまでという。

公園は、JR水戸駅南口から徒歩3分ほどにある。バラは、道路から見えにくい斜面に咲いている。榎原英千世会長（84）は「通勤や通学、買い物帰りをはじめいろんな人に見て、楽しんでもらえたらうれしい」と笑顔を見せた。（木村優斗）

参院選向け決起集会

連合茨城 勝利へ結束確認



夏の参院選に向けた連合茨城主催の総決起集会が16日、水戸市千波町のザ・ヒロサワ・シティ会館で開かれ、茨城選挙区で立候補する立憲民主党の小沼巧氏と比例の連合推薦候補10人の勝利へ結束を確認した。

構成組織の組合員や立民県連の青山人代表、国民民主党県連の浅野哲代表、無所属の堂込麻紀子参院議員ら約400人が参加した。

連合茨城の久保田利克会長は「国民に寄り添った政治が求められている。参院

でも与党の目標に、連立小沼氏当選む」と力を青山人代表は選は県連の選はない。引き願いたい「茨城選挙区え、働く人り続けてる」と強調、再選を目指す府・与党へ明にし、「応える政治め、全力で強調。最後ロー三唱で

介護で活躍

筑西の福祉施設

本県で初めて介護現場にインドの人材を受け入れた筑西市上平塚の社会福祉法人征峯会（渡辺和成理事長）が16日、県庁の大井川和彦知事を表敬訪問した。介護人材の男女12人が流ちょうな日本語で自己紹介や日本の魅力を語り、人材不足解消が期待される介護現場での能力の高さを示した。

障害者支援施設「ピアしらとり」や特別養護老人ホーム「しらとり」などを運営する同会は現在、東南アジア5カ国から介護人材の受け入れを進める。イン

たい」

ドから来た12人は多くが20代で1月までに採用された。技能実習生や特定技能の資格で来日し、既に利用者支援を行っている。今後は介護福祉士の資格取得や外国人材のリーダー的役割が期待されている。

インド北部出身のジェスワル・ユヴィカさん（21）は「仕事は楽しいし、利用者と会話しながら日本語を学べる」と充実感を漂わせた。知事との面会では、13人を代表して「日本で長く働きたいので、仕事も日本語も

アヤ

潮来市でる水郷潮菜をPRしようの佐藤娘」の佐藤出招桃香さん市長ら関係で石破茂直アヤメの花